

がっこうたんけん

この単元は入門期の1つとして位置付けています。自分の教室がわからなくなったことがある「そうたさん」がメインキャラクターです。まず教室を起点として校内を探検し、校内の施設の役割、基本的な約束になるべく多く気付かせることを主軸としました。次に、そこで働く人に着目させ、学校で働く人達の仕事の内容を知り、それが自分達の学校生活を守ってくれていることに気付くことで、安心して学校生活を送れるようになるよう構成しています。



上 p.23

あそびにいこうよ

野外での遊び活動は、大きく春～夏と、秋、冬の3つに分けました。各単元はそれぞれの活動に加えて、豊富な資料から構成されています。

春は入門期の意味合いが強く、友達をつくりながら工夫して遊ぶ中で、自然の中で遊ぶ楽しさ、公共施設の使い方を学べるよう構成しました。夏は、水や土、しゃぼん玉で遊ぶ中で、以降の生活科や理科に通じる原体験をつくることを主眼としました。



上 p.63

わたしのあさがお

この単元は、植物栽培に少し自信が無い「あおいさん」がメインキャラクターです。前半の場面では「自分の鉢で」「種を選んで」「鉢の置き場所を決めて」など、自己決定の場面を重視し構成しました。また、p.40-41では夏休み期間の活動を保証し、栽培後には、これまでの記録からアサガオの成長をふり返る中で自己の成長をふり返り、半年間育ててきたアサガオに感謝する場面を設けました。またこの単元では、「たとえる」「くらべる」「よそうする」などの観察の視点や記録のしかた、タブレット端末を扱う場面も登場します。



上 p.40

生きもの大すき

この単元は、モルモットなどの「あたたかい生き物」との触れ合いと、学校の周りにいる虫の短期飼育で構成しました。ここでは、相手が何を食べるのか・どんな場所を好むのか・どんなことをすれば喜ぶのかなどを探りながら観察する様子や、小動物との現実的な距離と心の距離を徐々に縮めていく様子を示しています。その中で、命の大切さに気付かせるとともに、小動物だけでなく、友達を含めた他人は自分の思い通りにはならず、相手を理解することでその距離が縮まることを気付くこともねらっています。

モルモットなどの飼育に関しては、可能であれば行う扱いとし、「もっとやってみたいな」で示しました。



上 p.73

あきをたのしもう

秋の活動は大きく2場面の構成となっています。最初は校庭や公園に出かけ、体全体で秋を感じ自然と触れ合う活動を設定しました。工作用の落ち葉やどんぐりを集めるためではなく、たっぷりと秋を満喫し、自然の中で遊ぶ楽しさや季節の移り変わりに気付かせることがその目的です。

次に、落ち葉やどんぐりを使って「何か作れないかな。」というつぶやきをもとに、教室でもの作りをする活動を設定しました。もの作りでは、考え工夫する場面を設定し、それらを使って遊びを創造する場面、さらに「もっとあそびたいな」では、幼保の子どもたちを招いて遊ぶ場面も示しています。



上 p.89

ふゆをたのしもう

冬の遊びは、地域差を考慮し、雪の多い地域とそうでない地域との活動に分けました。地域の実情に応じて「風」と「雪や氷」を選択したり、その両方も選択できるようになっています。風の活動では友達と交流し、比較する・工夫するといった場面を大切にしました。この体験は、下巻の「動くおもちゃ」へとつながっていきます。

また、「もっとあそびたいな」では「むかしからのあそび」を取り上げ、高齢者との交流を、昔遊びの良さや楽しさを、触れ合いを通して気付くことができるよう構成しました。



上 p.109

ありがとうがいっぱい

この単元は、まず「家の人はどんな仕事をしているのか」ということを知り、「自分にはどんなことができるのか」という課題を持つことから始まります。学校外での活動が主となる単元ですが、p.91にあるように学校での情報交換や学び合いを大切にしました。そして家の仕事に挑戦する中で、より成長した自分に自信をもち、また頑張ろうという気持ちとともに、「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないよう構成しました。さらに「もっとつづけたいな」では、規則的な生活習慣を続けることが大切であることも示しました。



上 p.101

もうすぐ2年生

「もうすぐ2年生」にはメインキャラクターはいません。みんなでふり返る構成としました。ここではまず1年間をふり返り、できるようになった自分達を認めることができるよう構成しました。そこではp.121にあるように、自分の心の成長も認めることができるよう配慮しています。

「まっているよしん1年生。」は、新1年生を迎える活動で構成しました。ここでは前時の活動をふまえて自分達の入学時を思い出し、新1年生に何をしてあげればよいか考え活動するよう構成しました。



上 p.122